一身田の新聞
発行
一身田地区
社会福祉協議会
編集長
岡本博和

一身田みんなの笑顔の写真展開催
地区社協　概要を発表
元気サロン・にこにこサロンなど福祉サロンの今の課題
市議会議員の活動報告　一身田に関わる諸事案

こんな時だからこそ！
「一身田　みんなの笑顔の写真展」開催
一身田地区社協　概要を発表

暗雲垂れ込める現代社会、経済は冷え込み、中止、中止の言葉が飛び交い、人間関係もおかしくなってしまう。一日中テレビの番だけで話し相手はテレビだけと云う一人暮らしの声も聴こえてくる。そんな中、何かほんの少しの光明が差し込めるモノやコトを求めて、一身田地区社会福祉協議会（地区社協）は今年度の目玉事業として、「笑顔溢れるその一瞬を写真に！」をテーマに『一身田　みんなの笑顔の写真展』を開催するため、写真を募集する。

写真は子どもから大人まで年齢を問わず、ペット等と一緒もOK。天使の笑顔の赤ちゃん、幼稚園や保育園、学校での友達との談笑、はじける若さ、誕生日や慶事の御祝い、福祉施設での皆と一緒の喜び、退院時の嬉しそうな顔など「大笑い」「にっこり」「はにかみ」「微笑み」「にやにや」など日常の何気ない笑顔の写真を募集する。

写真展のポスター　募集要項は各戸配布する

応募方法

応募方法は、現物の写真やUSBメモリーを寺内町の館まで持参する方法とインターネットを利用してインスタグラムやメールで指定したアドレスに投稿する、二通りの方法を予定している。応募資格は一身田地区に在住や在学、在勤、故郷が一身田、一身田を訪れた方、友人知人が一身田に居る、被写体が一身田など一身田地区と関りのある方を対象として、地域住民の癒しと一身田をPRすることを目的とする。

受付場所

写真やUSBメモリーは寺内町の館まで、インターネットは指定したアドレスに。

受付期間は9月～11月末までを検討している。

出品作品の中から優秀賞や入賞などの賞を設け、副賞を授与する。

作品は12月から寺内町の館や公民館、本山、公共施設など持ち回り展を行う予定である。

岡野自治会連合会長は「二年越しのコロナ禍で会いたい人に会えない、行きたい場所にも行けない。そんな暗い世相を跳ね返し、笑いのある街づくりの一助にしたい」と抱負を語る。

また、望木地区社協会長は「各自治会長や民生・児童委員、婦人会、老人会、PTAなどの諸団体に応援を求め、みんなで一緒にこのイベントを盛り立てたい」と語った。

募集要項の最終決定は7月中に確定して、市政だよりと一緒に各戸配布を予定している。

笑顔の写真展　今後の予定

7月	ポスターでき上り
8月	募集要項を各戸に配布
9月	笑顔の写真を募集
11月	30日募集〆切
12月	作品審査・展示準備
1月	寺内町の館で作品展示
2月	2月以降　持ち回り展

福祉サロンの「いま」

コロナ禍後の事業について会議をもつ中区　井戸端サロンの役員

一身田地区には、平野に「平野元気サロン」、大古曽に「いきいきサロンほほえみ会」、志登茂に「元気づくり教室」、同地区に「健康サロン笹ゆりの会」、桜町に「桜町にこにこサロン」中区に「中区井戸端サロン」、上津部田に「あっぷるサロン」の7ヵ所があり、それぞれ独自の事業を行っている。

サロンは、仲間づくりや閉じこもりの防止、介護の予防など地域福祉の推進の場として設けられている。

中区の井戸端サロンは6月28日、コロナ禍後の事業の再開や一身田老人クラブ連合会（一寿会）津市老人連合会でのイベントの参加要請について話し合いが持たれた。特に、昨今の社会情勢では、密を避け、人数制限をしなければならない事、イベントの中止で、閉じこもりの人が増える事から注意が必要、今後のイベント再開日をどうするかなどの意見が出た。

投稿

平野元気サロン

代表　小林伸生

コロナ禍で活動自粛が多い中、高齢者の引きこもり防止に、サロン活動が果たす役割は大きいと思います。互いに顔なじみ仲間の活動であり、十分な配慮をすれば、必要以上に消極的になる事はないと思います。

平野元気サロンでは、原則月一回、年間十回の活動を計画しました。残念ながら5月6月は会場のコロナ対応で借りられず、中止しましたが、7月以降の事態の改善を期待しています。

主な活動内容は、各種ゲーム、プロジェクター使用の名画鑑賞会、ハーモニカ演奏会、脳トレ・健康体操、学習会等です。

興味ある活動で参加を促し、住民相互のつながりを深めて、安心と充実の生活を提供していきたいと思います。

一小・一中　校長、公民館長が着任

一身田小学校
三浪秀信校長

一身田小学校長に着任しました三浪秀信です。前任校の3倍以上の児童や職員が在籍し、責任の重さを痛感しています。

一身田地区は地域行事も多く、地域で子どもたちを見守り育てていただける所と聞いています。昨年度に引き続き多くの行事が中止となっていますが、早期に通常の行事運営ができるようになり、人とつながりながら、前向きに生きる子どもを育成していきたいです。何かとお力添えいただきますようよろしくお願いします。

一身田中学校
中村規久校長

今春、着任しました校長の中村規久（なかむら　のりひさ）と申します。

平成元年に教員として第一歩を踏み出した一身田中学校で、校長としても第一歩を踏み出すこととなり、地域との縁を感じています。

さて、令和3年度は全校生徒494名でスタートしました。今年度も、学校教育目標を、「さとく、やさしく、たくましく生きる生徒の育成」とし、コロナ禍ではありますが、授業・部活動・学校行事を充実させ、生徒たちが安心して過ごせる温かい学校づくりを目指します。地域の皆さんのご支援よろしくお願いいたします。

一身田公民館に着任して

公民館長　杉野浩也

本年4月に一身田公民館長（一身田出張所長）に就任いたしました、杉野浩也と申します。

一身田地区の皆様には、日頃から公民館活動に対しまして、深いご理解とご協力をいただいておりますこと、厚くお礼申し上げます。

さて、公民館については、学習機会や学習の場の提供はもとより、地域の方々や公民館利用者との結びつきを大切にし、地域の方々が公民館に行くことが楽しい、楽しみとなる運営を目指すとともに、地域の歴史や地域活動を知り、地域の課題を把握することが大切だと思っております。

先般も公民館主催の一身田歴史講座に参加し、ほっとガイド会の皆様から環濠や黒門、桜門など寺内町の説明を受け、少し一身田の歴史に触れさせていただきました。

これからも、もっと地域を知り、自治会をはじめ地域の各種団体との協働により、地域の皆様のお役に立てるよう努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

スイレンや蓮で夏のおもてなし

高田本山の境内にあるハスが咲き始めた。（6月23日現在）

境内には35種類135鉢、1000株が植えられ、8月初旬まで楽しむことができる。。

高田本山境内のハス

一身田花いっぱい運動を始めて25年、仲之町通りの商店街には、今年も夏のおもてなしとして熱帯スイレン37鉢が植えられ、他の草花共々、楽しませている。

今年もスイレン37鉢が植えられた

一身田地区の人口は13，106人

令和3年6月1日現在、一身田地区（行政区）の総人口は、13，106人。内訳は男性6，275人、女性6，831人です。総数のうち、100歳以上の方は9人、90歳以上の方は、213人です。10年前の人口比では△142人の微減です。

次回に更に詳しく報告します。

市議会議員からの報告

みんなの便り

難問、難題、醜聞？！津市はいろいろな問題を抱えている。市民にとってそれらは「生活」と密にしていることから関心度も高く、気になる事が多い。今回、地元市議会議員の皆さんに議会や地域で取り組んでいるコト、将来のあり方などを寄稿して頂いた。

議員活動で取り組んでいる事

津市議会議員　岡　幸男

津市議会議員に出させて頂き、初めて取り組んだ大きな事業は、市道一身田長岡線の拡幅工事で、20年近い歳月はかかりましたが、令和6年完成予定までとなりました。

寺内町の環濠整備、カラー舗装、景観重点地区指定等は如来堂・御影堂の国宝指定に間に合った形となりました。

立ち上げから関わってきました、一中のナイトスクールは継続中で、運営資金は苦労して認めてもらった校内に設置した公立中学校では珍しい自販機の収益で補っています。

「コミュニティバス新路線が一身田・白塚を走ってます」

津市議会議員　滝　勝弘

津市のコミュニティバスは、旧市町村単位…近くでは河芸町内を走っていましたが、4月からは新路線で運行開始され、河芸　～一身田～白塚を走っています。

私は、2020年3月議会から、6月議会、9月議会と連続して、改編にあたっては地元への説明をていねいに行うことが必要だ、と質問してきました。

河芸地域の皆さんから721筆もの「バス路線をなくさないで」署名など大いに声をいただいて、当初千里ヶ丘団地に入ることが全くなくなってしまう計画が、週1回ですが走ることになり、何とか残すことができました。

私も4月早々に乗ってきました。利用者の方とお話しして、ご意見を伺いました。市は運行しながら問題点を検証するとしています。見直しにあたっては乗降者数だけで判断するのではなく、高齢者の外出支援を考えると福祉的な視点を持つべきです。使いやすい地域公共交通にするために、ご意見や乗った感想などをお寄せください。

火・木・金の週3日、4往復運行しているコミュニティバス

地元の市議会議員として

津市議会議員　村主英明

「地元に住んで寺内町の活性化に取り組む」と大口をたたいて市議会議員になって2年余りがたちました。歴史的なまちづくりや地域の活性化には是非ともお役に立ちたいと思っていますが、これは腰を据えた取り組みです。

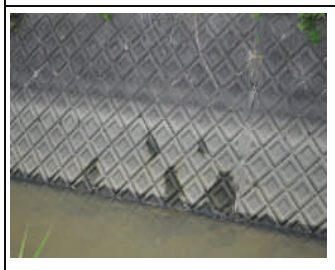
一方で、身近な問題でよくご相談を伺いますが、目に見える進展も出てきました。例えば、県道津関線の高田高校近くの歩道拡幅、一身田公民館と郵便局の間の連絡通路など、関係者のご尽力のおかげで実現に向けて進んでいます。

河川の水防施設が老朽化して管理が大変というご相談をお聞きしながら、一身田の水害への安全性が守られている実態を知り、それが現地視察と研修会の実施につながりました。

子どもたちの登下校の安全には「見守り」が大きな役割を果たしており、私も2箇所で週に1回ずつですが参加しています。自ら経験するとリアルな課題がよく見えてくるので、取り組みに生かしています。

最近、やたらと舗装の傷み、危険な側溝、ゴミ集積所、登下校中の子どもたちなどが気になっています。

身近な問題から大きな課題までいろいろありますが、皆さんのお役に立ってこそですので、これからも汗をかき続けたいと思います。



毛無川の提体では多くのひび割れがあり早急な改善が求められる

一身田支所と郵便局の側溝に橋げたを

自治会と社協が要望書を市長に提出

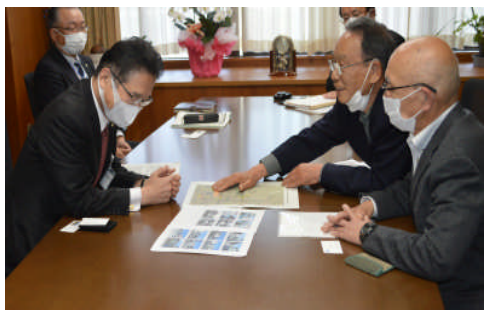
一身田自治会連合会と地区社会福祉協議会は連名で一身田支所南側と津北郵便局との間の側溝に橋を掛け、避難通路として整備して欲しい旨の要望書を4月26日津市長に直接手渡した。

津北郵便局（日本郵便(株)）が所有する未舗装の駐車場を通行する許可を得ており、新設されたコミュニティバスの停留場から支所、公民館、スーパーゼにやまで一直線でコミュニティバスは、現在の経路で無く、大里一身田・高田本山駅を循環する形を提案しています。

一身田公民館に隣接する一身田郵便局の駐車場からの避難通路設置に向けて、市・郵便局と交渉中であります。

また、郵便局建て替えにあたっては、西側も南側もセットバックを行い道幅を拡幅することを条件に駐車場を市で買い上げ、公民館・消防団車庫を一体整備することを提案しています。

津北郵便局の再開発に津市も積極的に！



一身田商工会

商品券をリニューアルします

一身田商工振興会　会長　中川隆功

一身田商工振興会は、現在の商品券の残数が少なくなってきたのでリニューアルします。

リニューアルにあたっては、新しいデザインの公募を行いますので奮ってご応募下さい。

応募の詳細は決まり次第、一身田商工振興会のホームページやインスタグラムにて発表いたします。採用作品や佳作には商品を授与します。

また、新しい商品券の発行を記念して、年末頃から大売出しを開催致します。商品券を3店舗にてご利用頂いたお客様に豪華景品の当たるガラガラ抽選を行って頂く予定です。ご期待下さい。（内容は変更の場合があります）

下図の写真はちょっと懐かしい昔の商工振興会の大売出しの様子です。写っているのは「しん坊」君の影無者、「不しん坊」君です。

前葉津市長からは「地元の議員さんからの要望もあり関係部局に検討するように指示する」との返答を得た。

高田本山　新宝物館の完成予想図

本年8月着工、令和5年2月完成予定の新宝物館。220坪の広さに新しくVR（仮想現実）を設け、本物のような経典や国宝の御影堂、如来堂などを超高画質映像で体感できる部屋も新設する。

シリーズ　本山をもっと知ろう！

おお仏飯

高田本山　専修寺　広報課　玉野　章法

毎朝お供えするご飯さん

高田本山では一年365日毎朝お勤めがあります。毎朝6時30分に鐘が鳴り、7時から如来堂のお勤めに始まり引き続き御影堂でのお勤めがあり、その後お説教があります。

この毎朝のお勤めに欠かせないものが仏さまにお供えするご飯さん（お仏飯）です。

お仏飯をお供えするということは、「おかげ様で私は今日もいのちを支えられ、生かされております」という感謝の表れです。

高田本山で、このお仏飯を用意しているのが、御飯講（はんこう）です。

現在、御飯講の講員は7名おり、男性講員5名が玄米を精米して白米を準備します。女性講員2名が交替で毎朝4時半から8合ほどの白米を炊き、大小14個の仏飯器へ蓮のつぼみの形に盛り上げます。

そして、男性講員により本山内の御影堂・如来堂のほか、ご本尊が安置されている場所に届けられます。

また、親鸞聖人のご命日にあたるお七夜報恩講最終日1月16日の朝には御影堂に1升の巨大なお仏飯が安置されます。

このように、お仏飯を阿弥陀様や親鸞聖人の前に安置して、初めてお勤めができるのです。少人数で365日必ずご用意していただく御飯講の皆さまには頭が下がる思いです。

ぜひ皆さまも高田本山の朝のお参りにお越しください。

体育振興会

「歩こう会」を実施　99人が参加

一身田地区体育振興会　理事長　村田定利

恒例の町民球技大会が今年もコロナ感染予防のため中止となり、その代替事業として「歩こう会」を企画しました。

当日は、梅雨の晴れ間の好天と、久々の自粛生活から解放されたかのように例年に近い99名の参加を戴きました。

今回の目的は「高台を目指す」から「一身田の水防の現状を知る」一助に、志登茂川下流の花の木樋門、小日向樋門を目指して、約6kmの歩こう会としました。

道ばたのアジサイや景色を眺めながら「マスク着用」「三密禁止」「黙歩？」とかなり厳しいルールも皆様のご協力で楽しい充実した一時となりました。言い換えれば、『思いやりウオーク』だったと思います。

そして、事前準備や受付等、コロナ禍の中での今後の事業取り組みの試金石となったようにも思われました。

お知らせ

自治会、地区社協、その他諸団体の令和3年度事業計画で「中止」が決定した事業は以下の通り。

7月　一身田たなばたまつり
8月　盆踊り大会
9月　町民運動会
11月　寺内町まつり
11月　しあわせ和婚

※9月の敬老の集いに関する諸行事は7月中に決定する。グランドゴルフ大会は秋の予定。